Vol. 64

2017.11.1



塩尻市こども教育部男女共同参画・人権課

塩尻市大門七番町4番3号

TEL: (0263) 52-0280 内線3151 FAX: (0263) 54-2705

Eメールアドレス: kyoudou@city.shiojiri.lg.jp



元気な地域を育む ~ 輝く SHIOJIRI の女性たち ~

男女共同参画都市宣言

わたくしたちは、人間としての自立と平等を基本理念として、男女があらゆる分野にともに参画し、ともに築く生活文化の熟 成された田園都市を目指し、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

- 1 男女がともに、一人ひとりの個性と能力を発揮し、生き生きと充実した人生が送れる塩尻市をつくります。
- 1 男女がともに、多様な生き方を認め合う、心豊かな塩尻市をつくります。
- 1 男女がともに、互いの性を尊重し、支え合うやさしい塩尻市をつくります。
- 1 男女がともに、地球市民として、地域から世界へ友情と平和の輪を広げる塩尻市をつくります。

平成6年9月16日制定 塩尻市

地域で躍動する女性たち

Q:現在の仕事の内容はどのようなものですか。

A: 開業産婦人科の非常勤助産師としての勤務と塩尻市や岡谷市、山形村で妊婦や育児相談、母親学級の担当、その他開業助産師として、各種相談や思春期の性教育等に関わる仕事をしています。

Q:現在の仕事(開業)のきっかけは何ですか。

★: 勤務助産師を20年以上していて、限られた時間の中では十分な対応や人間関係の構築が難しいと感じました。その人らしい本来の力を引き出すには、ゆっくり時間をかけ寄り添った形で関わりを持つことが大事だと思い、開業することで、人と人との関わりをもっと深め、信頼関係、絆を求めていきたいと思っています。人と人のつながりを大切に、地域のお手伝いが出来たらと思います。

Q:お住まいの地域について思うことをお教えください。

A: お母さん達からは「塩尻は、子育てし易い所」と聞きます。多様なスキルを持つ方たちの主体的活動もたくさんあり、NPOや地域のコミュニティ、企業にしても地域を支えていると感じます。(私も)子ども達を未来につなぐ橋渡しをして行こうと思います。

Q:地域での活動(お仕事)で女性としてやりにくさを感じる瞬間はありますか。

★: 逆に助産師なので、この仕事であるからこそやり甲斐を持てます。男女一緒に働いている仕事が多い中で、助産師に男性の枠はありません。

Q:地域の行事などについて関心はありますか。

A: 塩尻を知るためには、四季ごとに沢山イベントがありいいと思います。主人とは、休日を合わせることがなかなか難しいです。休みが合えば家族で地域のイベントに一緒に行きます。両親の支援を得にくいため、主人には子どもを見てもらうことも多いが、協力的で有難いです。

Q:塩尻市に移住されて13年目ということですが、塩尻の印象はいかがですか。

A: 豊かな自然に囲まれ、太古の歴史から現代に至るまでの歴史をきざみ、伝統をつないできた魅力ある地域と思います。四季折々の塩尻の魅力を、これからも学び体験していきたいと思います。

Q:将来どのような夢をお持ちですか。

A: 沢山やりたいことがありますが、今後の課題と目標は、対象者の目線に立って心の声が聞けるような、寄り添えるような関わりができたらと思います。講義では、知識の押し付けやきれい事であったり、一方的であったりすると、自分のこととして捉えづらくなります。今現場で何

が起こっているか現状を伝えられる講義をしたい、未来ある子 ども達の人生を考えて仕事に携わって行きたいと思います。今 は、種まき仕事を一生懸命やっていこうと思っています。



開業助産師、思春期保健相談士として 人との関わりを育む

栗岩 美保さん

伝統ある祭を支える 阿禮神社例大祭 宮本祭典部長

小松 麻衣子さん

女性として祭典部長を務めた小松さんですが、宮本町では 15年位前までは自主参加の男性部員のみで、女性の参加は 正式には認められませんでした。

また、他の地区でも男性部員の減少や女性の社会参加などにより女性部員が増えつつあります。



Q:祭りに参加したきっかけはどのようなことですか。

A: 14歳の時、近所の方から誘われ、阿禮太鼓の笛と太鼓を始め、高校1年生から阿禮神社例大祭の宮本町の囃子方として笛や太鼓を演奏してきました。

Q:参加の内容や経過はいかがでしたか。

★: 祭りの1か月前から、毎夜10時まで囃子や歌を練習します。 結婚して2人の子どもがいますが、長女の出産と重なったときだけは祭り当日は演奏しません でしたが、練習にだけは参加していました。

Q:この役職について特別な思い入れはありますか。

A: 昔は女性には務まらないと考えられていましたが、参加を重ねることにより、女性の積極的な思いを尊重されるようになりました。 就任した後は一番に部員のことを考え、参加者や見物している人にけががないよう、また、覚行は勇壮になるよう努めました。

Q:責任感や重圧感はありましたか。

A: 最初は全部背負っている気持が非常に強く、凛としていなくてはとプレッシャーを感じ、無意識のうちに笑顔が消えていたようでした。部長は祭りのお囃子の演奏はしませんが、部員は心配してゆったりした気分になるようにと、準備が始まったとき練習に誘われる気遣いをいただきました。肩の荷が軽くなり、祭りを楽しもうと気持ちを切り替えることができました。

Q:祭り終了後の感想を教えてください。

A: 母親には子どもを預かってもらうことができありがたく思っています。 伝統やしきたりのある地域の祭りの部長に就任し、努められたことに達成感を強く感じています。 また、回りの方々の様々な理解や協力があったからと感謝しています。



平成29年度 塩尻市

豊かな心を育む市民の集いを開催します。

立と平等を目指し「男女共同参画都市宣言」を ため「人権尊重都市宣言」そして、人として自 少年健全育成都市宣言」、人権意識の向上を図る 行い意識改革に努めています。 塩尻市では、青少年が健やかに育つため「青

あります。 人権に関する問題や課題は増える一方の状況に 社会、家庭等の中に存在する偏見や差別等、

います。

男女共同参画社会の意義や重要性について正し 育てるため、豊かな心を育む市民の集いを開催 く理解し、暮らしの中で、人を大切にする心を そこで、一人ひとりが人権を尊重する社会、

- 期 日 平成29年12月9日 (土) 13時30分~15時30分
- 場 所 住所:塩尻市大門七番町4-レザンホール(中ホール) 8
- 主 催 塩尻市、 塩尻市教育委員会

内 容

(2)人権の花運動 (1)中学生人権作文コンテスト 入選作品表彰、 展示発表、感謝状贈呈

(3)人権啓発講演会

講師:書家 金 澤 泰子氏

※託児あり(1歳以上未就学まで) (ダウン症の天才書家 金澤 翔子氏の母

すすめ



ロクサーヌ・ゲイ

亜紀書房 出版

起こった、ハイチ系米国人のエッセイ 多くの人に勇気を与え全米で反響が

ぞれのやり方で差別や分断のない世界を目指せば良いと伝えて を受け入れ、妥協や不純も認め、それ 矛盾を抱えて完璧でない自分や他人



幻冬舎 青山俊董 著 出版

失敗を肥料として…」など、著者の多 み心地のいい言葉にあふれています。 女性僧侶ならではの視点が、非常に読 くの言葉が力強く響いてくると共に、 「苦しいからこそ進みなさい。病気や

まとめられています。 著者ご本人の生涯の指針となった言葉や具体的な事柄を中心に

2冊とも塩尻市立図書館で借りられます。

田田

瞳さん

の講師やボーカリストとして活動する。 昭和音楽大学で声楽を学ぶかたわら、 音楽教室など

ク教室の講師や子ども向けのコンサートの歌手も務め 音楽バンドと出会い音楽活動を再開。県外でリトミッ 親が行う老人施設の慰問が縁で、現在演奏を共にする 塩尻に戻り、2年間ほど音楽から離れていたが、両

表紙紹介

で国歌独唱を務める。 ツ選手権NAGANO 来年7月に長野県で開催される「世界ダンススポー JAPAN」の開会セレモニー









意欲的に活動されています。 いただきました。人や地域との絆を深め、 れている栗岩さんと小松さんを紹介させて 今回は、「個性と能力を存分に発揮」

ますますの活躍が期待されます。 を尊重できる社会を目指す中で、お二人の 自分の生き方を大切にし、他者の生き方

有賀

多いなか、伝統ある行事に気負わず楽しく って欲しいと思います。 め、女性も男性も共に参画できる社会であ で柔らかに男女共同参画に対する理解を深 化を感じました。これからも、 活動されている様子を伺い、時の流れと変 地域で女性の参画は難しく感じることが 様々な分野 小松

周りの女性の方達について、考える機会と 今回このような機会をいただき、自らその あたりまえになりつつある言葉でしたが、 なりました。ありがとうございました。 「地域で女性が活躍する」私の中では、

山崎

なるような社会が理想なのかなと思いま う中で、男女共同参画という言葉も死語に 在の輝きがあるのだなと印象的でした。み は全く違うのですが、ごく自然な流れで現 や役割を続ける中で、今回のお2人、立場 んなが肩肘張らずユルッと各々の役割を負 人それぞれに違う、得意な事、好きな事 山田